

学校だより



市川市立平田小学校

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する そして共に幸せ～

いなほ
稲穂

学校教育目標

夢をもち、たくましく生きる
子どもの育成

No.12

令和4年9月12日

校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/hirata-sho>

令和4年度学校評価アンケート(6月)結果を公表します

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。以下のような結果となりましたのでご報告いたします。読むというより、ご覧いただいて傾向をつかんでいただければ幸いです。この結果をもとにさらなる手立てを講じ、教育活動の充実に生かしてまいりたいと存じます。

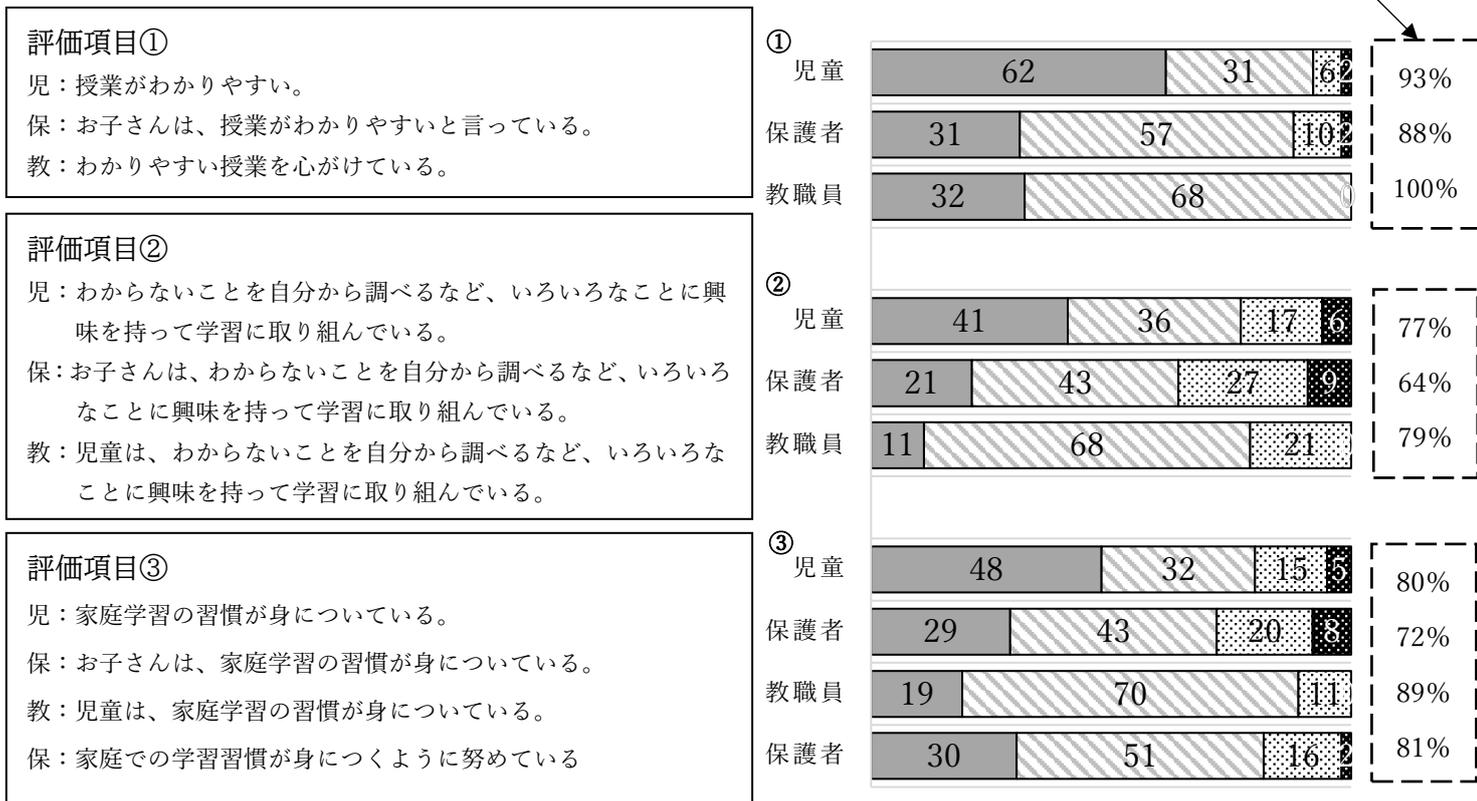
なお、個別にお寄せいただいたご意見については、後日改めて回答を添えてお伝えいたします。よろしくをお願いいたします。

「確かな学力」

評価基準 A: そう思う B: ややそう思う C: あまり思わない D: そう思わない



☆肯定的評価の割合



「確かな学力」についての昨年度同時期のアンケートと比較すると①「授業のわかりやすさ」が児童93% (+5P)、保護者88% (-2P)、②「自分から調べる」が児童77% (+7P)、保護者64% (-2P)でした。児童は学習理解や意欲関心が高まっていると感じていますが、保護者には児童の姿として感じ取ることができていないことがわかります。また、③「家庭学習」については児童80% (-2P)、保護者72% (-6P)と、ともに下回っております。

学習の面白さや疑問を自分のものとしたり、目的意識を明確にしたりしながら、自分で勉強できる力(自学力)の育成は課題となります。家庭学習に関しても、出された宿題に取り組むだけでなく、内容や方法を柔軟に工夫しながら個々の興味関心につなげて、自ら取り組みたい課題にすること、あるいは理解度に合わせて課題を選択できるようにすることなど、自学力の育成を図ってまいりたいと思います。

「豊かな心」



評価項目①
 児：友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている。
 保：お子さんは、友だちや近所の人などに自分から進んであいさつをしている。
 教：児童は、友だちや教師、地域の人などに、自分から進んであいさつをしている。
 保：お子さんのあいさつ・言葉づかい・マナーなどの基本的なしつけを大切にしている。

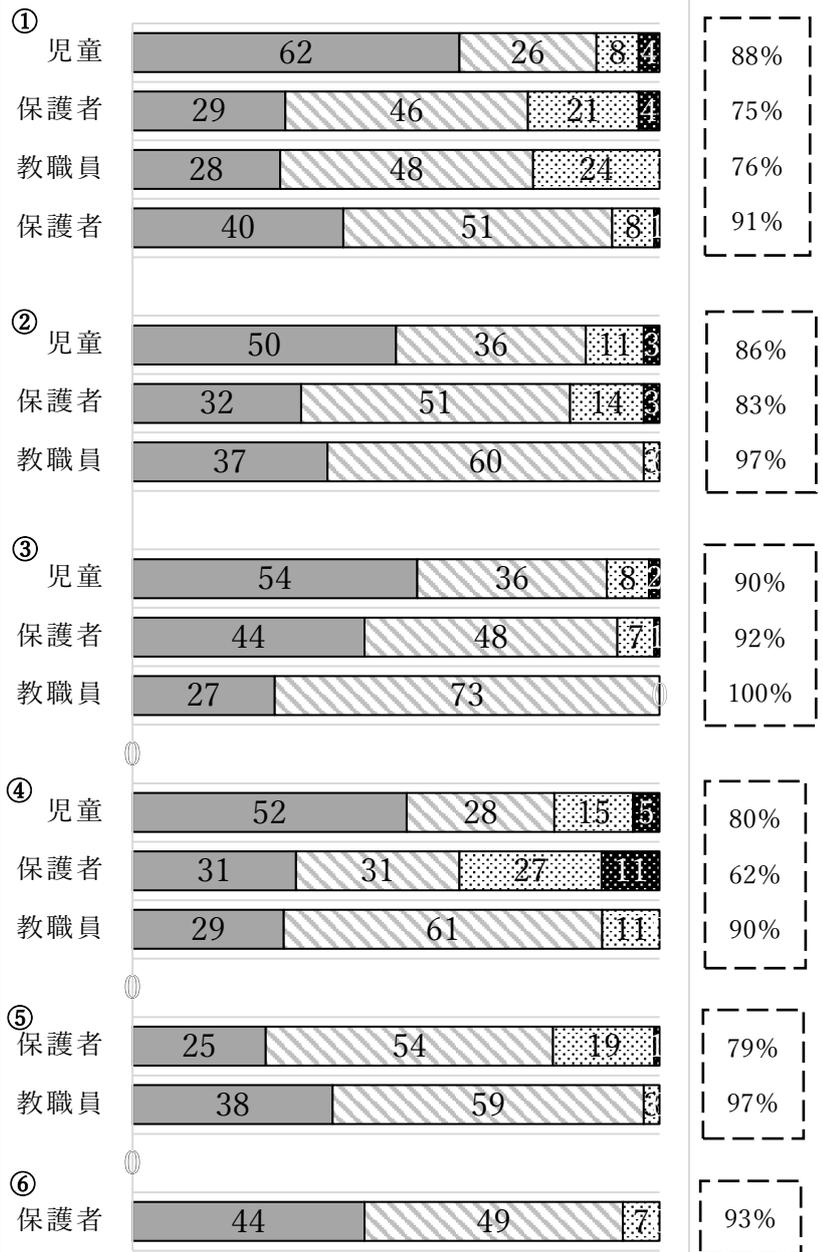
評価項目②
 児：自分の役割に責任を持って取り組んでいる。
 保：お子さんは、自分の役割に責任を持って取り組んでいる。
 教：児童は、自分の役割に責任を持って取り組んでいる。

評価項目③
 児：誰とでも優しく関わっている。
 保：お子さんは、誰とでも優しく関わっている。
 教：児童は、誰とでも優しく関わっている。

評価項目④ ※保護者のみ
 児：進んで読書活動に親しんでいる。
 保：お子さんは、進んで読書活動に親しんでいる。
 教：児童は、進んで読書活動に親しんでいる。

評価項目⑤ ※保護者・教職員のみ
 保：家庭では、お子さんの自己肯定感や自信を育むために、褒めたりよさに気づかせたりすることを心がけている。
 教：児童の自己肯定感（自信・有用感）を高められるようにしている。

評価項目⑥ ※保護者のみ
 保：日頃からお子さんとのコミュニケーションを積極的に図っている。



「豊かな心」について、①「あいさつ」は、児童（88%）に対して、保護者（75%）や教職員（76%）と意識の差が見られます。自分ではあいさつをしているつもりでも相手には伝わっていない場合があることを伝えながら、地域の方々や、朝の一声運動に関わる保護者の方の力をお借りして、誰にでも気持ちの良いあいさつ・返事ができるように、さらなる習慣化を目指してまいりたいと思います。また、6月の児童アンケートでは「自分にはよいところがある」の指数（0～100）を50にした児童は24%、それ以上が50%でした。「読書活動」については差が顕著です。読書環境とともに児童の自己肯定感を高める言葉がけに努め、保護者の皆様や地域の方々と共に温かみのある学校にしていきたいと思います。

「健やかな体」

評価基準 A: そう思う B: ややそう思う C: あまり思わない D: そう思わない

評価項目①

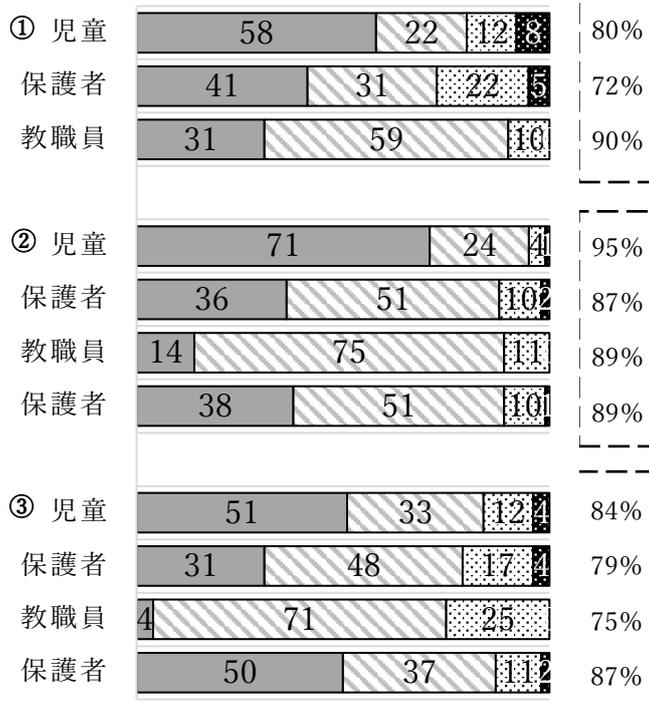
児：すすんで（外で遊ぶなど）体を動かしている。
保：お子さんは、進んで（外で遊ぶなど）体を動かしている。
教：児童は、すすんで（外で遊ぶなど）体を動かしている。

評価項目②

児：自分の安全（交通事故・けがなど）に気をつけて生活をしている
保：お子さんは、自らの安全（交通事故やけがなど）に気をつけて生活している。
教：児童は、自らの安全（交通事故・けがなど）に気をつけて生活している。
保：交通事故や不審者、非常変災などから危機回避する心構えや手立てを具体的にお子さんに教えている。

評価項目③

児：きそく正しい生活習慣（睡眠や食習慣など）が身についている。
保：お子さんは、規則正しい生活習慣（睡眠・食習慣など）が身についている。
教：児童は、規則正しい生活習慣（睡眠・食習慣など）が身についている。
保：朝食をとることや早寝早起きなど、お子さんの生活習慣形成に努めている

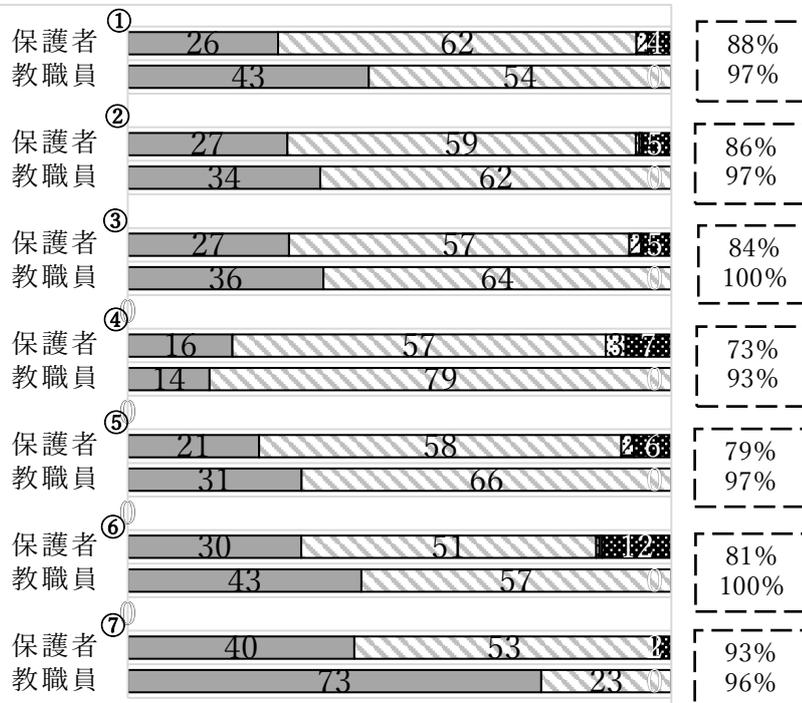


「健やかな体」について、児童、保護者の肯定的評価が最も高かったのは、②「安全」でした。特に「危機回避について具体的に教えている」保護者の割合が89%と高く、児童の意識の向上につながっていることがわかります。日頃からご家庭で安全について話題にするなどのご協力をいただき感謝いたします。学校においても、事前予告なしの避難訓練や不審者対応訓練を通して、自分の身は自分で守る力を育てたいと考えます。③「生活習慣」については、「生活習慣チェック表」を利用して意識の高揚を促しておりますが、睡眠時間の確保には課題が見られます。引き続き9月・1月にも実施し、自分の生活を見直す機会を設けて、規則正しい生活リズムで全身的な発達が促されるように指導していきます。

「信頼される学校」 ※保護者・教職員

評価項目

- ① 目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるよう努めている。
- ② 保護者や地域の方々とともに、子どもを育てる取組を進めている。
- ③ 保護者の思いや願いに対して適切に対応している。
- ④ 特色ある取組や教育を進めている。
- ⑤ 子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている。
- ⑥ 特別支援教育あるいは配慮を要する児童への支援に関して丁寧に取り組んでいる。
- ⑦ 学校だよりやHPで適切な情報提供を行っている。



「信頼される学校」の⑦の「情報提供」については、保護者の肯定的評価が高く、学校の取り組みをよく見てくださっていると感じ、大変ありがたいと思います。市内共通項目については、①「目指す子ども像や学校運営方針の理解」及び⑤「一人一人への適切な指導・支援」の2項目は、肯定的評価が市内小学校平均をやや上回りましたが、その他の項目については全体的にやや下回りました（※昨年度比②-1P ③-2P ④-3P）。また、今年度は「わからない」の選択肢を設けたことにより、説明不足や十分伝わり切っていないことが確認できました。教育活動が充実する2学期、児童の成長につながり、自信をはぐくむ活動を積極的に取り入れ、学校での様子をリアルタイムでお伝えしていきたいと思ひます。

育て！豊かな心



(1)朝のあいさつ運動(9/13~22)

9月、市川市の公立学校では、「あいさつ強化月間」として、「い」つでもどこでも、「ち」かくの人に、「か」わすあいさつ、「わ」たしから、を合言葉に取り組んでいます。

本校でも、3年生以上のたてわりグループ&代表委員で、明日13日(火)から22日(木)まで「あいさつ運動」を実施します。そして、あいさつシールを集めて各学級に掲示した「あいさつの木」を实らせていきます。

(2)平田っ子人権週間(9/22~30)

人権週間(すてきな自分週間)のテーマは、「自分のいいところ」。期間内に絵本『ぼくのいいところ』(ステイブ・メツガー作)の読み聞かせを通して、自分のよいところをハートのカードに書いて掲示します。

10月にはできあがった掲示物を集めてみんなで見合えるようにします。



- 学校徴収金引落日 10月3日
- 学校給食費引落日 10月末日

※丸数字は学年です

夢の教室って何?(10/27)

夢を持つ大切さ、その夢に向かって努力する大切さ、仲間と協力する大切さなどをスポーツ選手がゲームや経験を語る時間を通じて子供たちに伝えてくれます。

3	月	6年保護者修学旅行説明会 15:30	19	水	クラブ、スクールカウンセラー相談日
4	火	学校支援実践講座交流会⑥	20	木	シャボン玉講習①
5	水	委員会、スクールカウンセラー相談日	21	金	ひらたけ計算マイスター
6	木	ひらたけ計算マイスター	22	土	平田っ子音楽会、平田っ子まつり
7	金	前期終了の会、あゆみ配付	24	月	振替休業日
10	月	(祝)体育の日	25	火	就学時健康診断 12:45 下校
12	水	定例研 12:45 下校	26	水	校外学習(工場見学)⑤
13	木	防犯避難訓練(不審者対応)	27	木	夢の教室⑤
14	金	校外学習(アンデルセン公園)①	28	金	グリーンスクール(日帰り)④

市川市教育委員会から保護者・地域の皆様へのメッセージ

保護者・地域の皆様へ

皆様におかれましては、日頃より市川市の学校教育に対してご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

市川市教育委員会では、「千葉県版学校における働き方改革推進プラン」に基づき「市川市学校部活動の運営方針」の策定など様々な取組を進めております。

今年度は、平日における教職員・児童生徒の負担軽減策として、令和5年度から夏休み短縮により授業時数を確保する案について、各種団体からの意見の聴取も含め検討してきましたが、本案については見送ることとし、引き続き検討していくことといたしました。今後も「学校における働き方改革」を推進し、学校教育の更なる充実を図ってまいります。

令和4年9月
市川市教育委員会

※ なお、この件につきましては、教育委員会義務教育課(047-704-0062)にお問い合わせください。